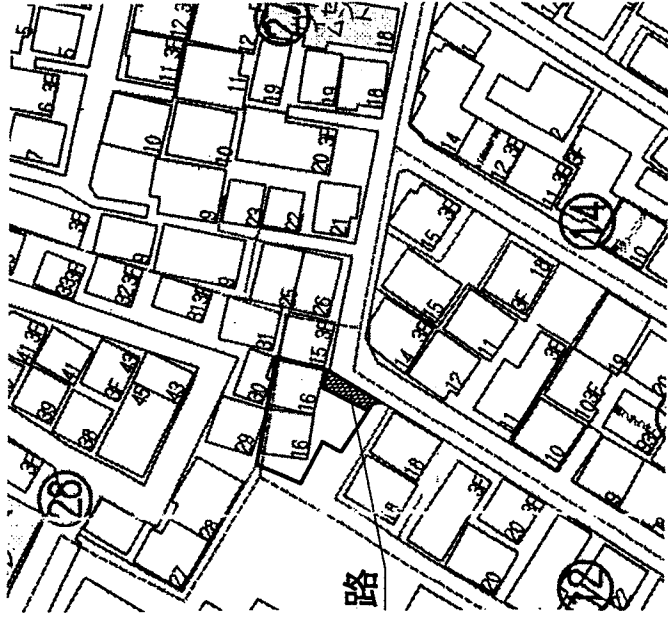
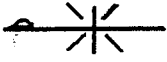


縮 尺	附近見取図	1/1000
	地籍図	1/100
	構造図	1/50
	公図の写し	1/600

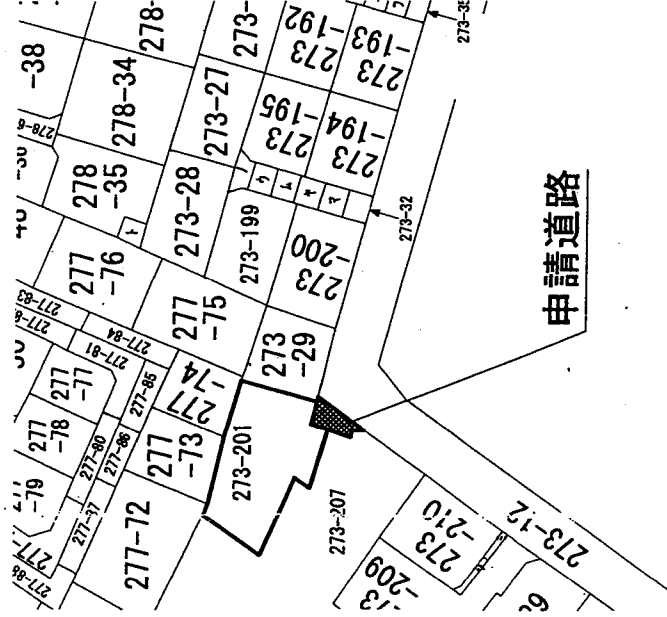
原本照合済

＝1：1000



(凡例)

＝1：600



※道路の位置の特定・指定要・取消台帳		
告示年月日	令和8年7月6日	指定年月日
告示番号	第88号	番号
		第1号

方	位	郡	界
道路位置の標識	米	都市計画路線	――
へ（構造を記入のこと。）	＝	既存道路	＝
主要出入口	→	申請する道路の位置（自動車転回広場を含む。）	○――○
井戸	井	指定された道路の位置及び建築線（指定年月日及び番号を記入のこと。）	――
生垣	〰	指定が取り消される道路の位置	〰
予定建築物（用途を記入のこと。）	〰	予定する道路の位置	――
既存建築物（用途を記入のこと。）	〰	擁壁	〰
敷地境界	――	高圧線	――
地番境界	――	崖	――
市町村境界	――	水路及び土揚敷	――

(注意)

1. 承諾書の「権利別」欄には、申請に係る土地（隣接土地を含む。）の所有者、借地権者、建築物若しくは工作物の所有者、他の権利者又は管理者（申請に係る道路を建築基準法施行令第144条の4第1項及び第2項に規定する基準に適合するように管理する者をいう。）の別をそれぞれ記入すること。
2. 図面中に、地番、権利別及び氏名をそれぞれ記入すること。
3. 申請の道路の幅員及び延長の単位はm（小数点以下2位まで）とし、面積の単位は㎡（小数点以下2位まで）とすること。
4. 付近見取図、地籍図、道路構造図、自動車転回広場の構造図、公図の写し及び土地に高低差がある場合は、その断面図を記入すること。
5. 道路及び自動車転回広場の構造図には、側溝等及び路面の構造を記入すること。
6. 付近見取図と地籍図の方位は、一致させること。
7. 隣接境界又は測量の基点から申請道路までの距離を記入すること。
8. ※欄には、記入しないこと。
9. 記入欄が不足する場合には、適宜欄を設けて記載するか、別紙に必要な事項を記載して添付すること。

道路位置図

(指定・変更・取消)

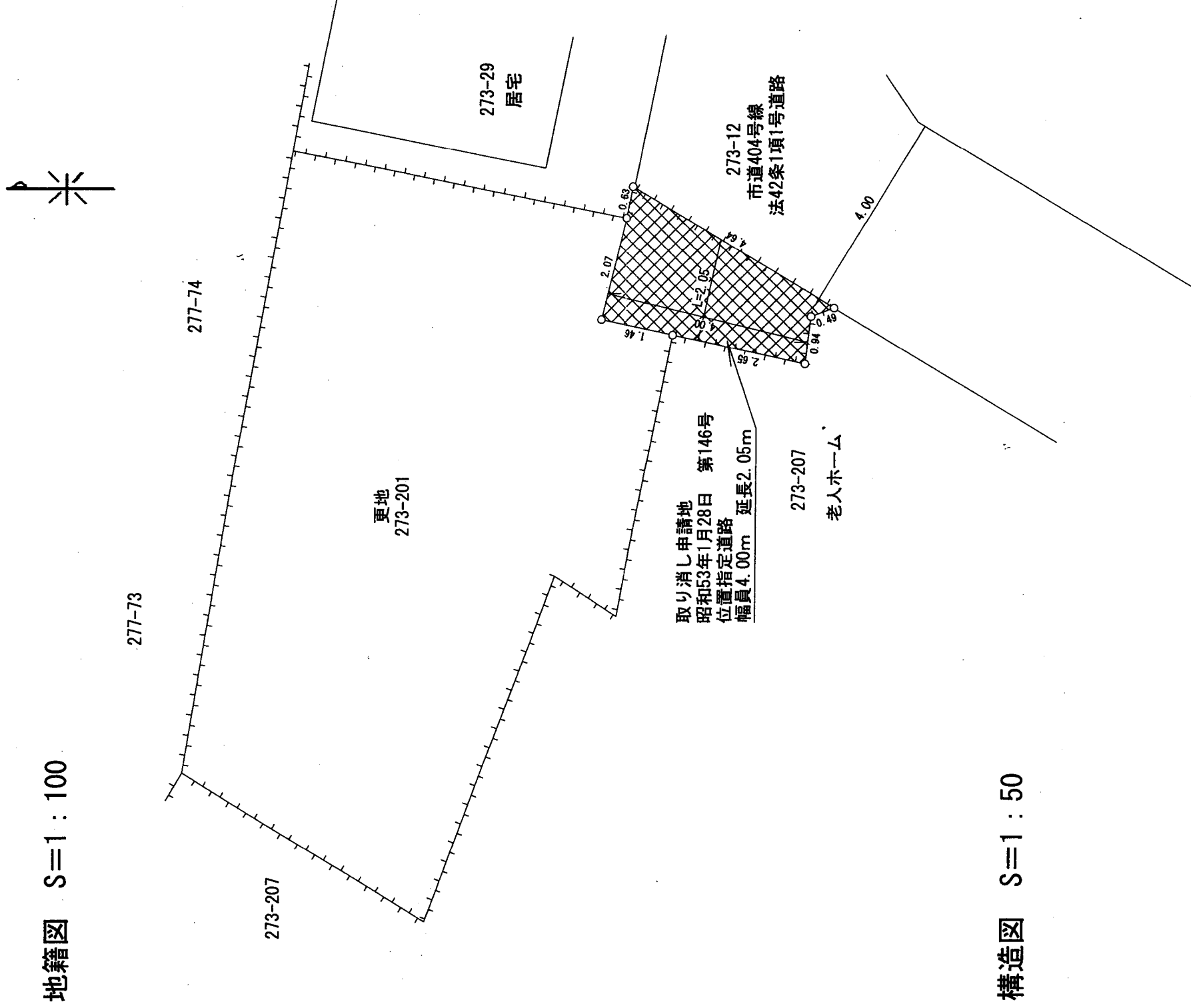
昭和53年7月16日
第1号

1、申請に係る土地の地名地番

埼玉県朝霞市三原一丁目273番201の一部

2、申請に係る道路の幅員、延長及び面積

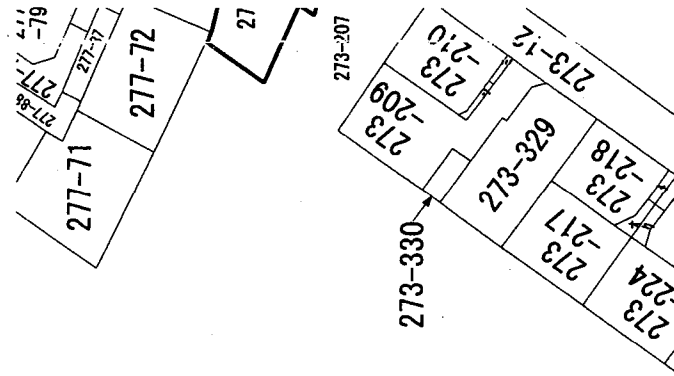
幅員	4.00	メートル・延長	2.05	メートル・面積	8.20	平方メートル
3、利用宅地総面積		平方メートル			8.24	平方メートル (実測)



附近見取図 S=1:100



公図の写し S=1:60



構造図 S=1:50

